

皇大神宮 内宮

こうたいじんぐう (ないくう)

皇室のご祖神の天照大神をおまつりする、わが国で最も尊いお宮です。五十鈴川の川上に千古の森に囲まれて、2000年の時を超えて古代のたたずまいを今日に伝えています。

お参りの作法は
二拝二拍手
一拝です



▶ 荒祭宮 あらまつりのみや

天照大神(あまてらすおおみかみ)の荒御魂(あらみたま)をまつる別宮(べつぐう)で、荒御魂とは神の特別な働きをする状態、または神が現れた状態といわれています。

▶ 正宮 しょうぐう

社殿の中心の正殿(しょうでん)は五重の垣根に囲まれています。唯一神明造(ゆいいつしんめいづくり)の古代の様式を伝え、萱葺き(かやぶき)の屋根には10本の鯉木(かつおぎ)がのせられ、4本の千木(ちぎ)の先端は水平に切られています。

▶ 子安神社 こやすじんじや

木華開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)をおまつりしています。奥にある大山祇(おおやまつみ)神社の祭神の娘にあたります。子授け、安産、子育ての信仰があります。

▶ 参集殿 さんしゅうでん

参拝者用休憩所で、神宮のビデオを上映しています。ここには能舞台があり奉納行事などに使われます。ここでもお札やお守りを受けられます。

▶ 神楽殿 かぐらでん

ご祈祷(きとう)のお神楽(かぐら)を行う御殿です。隣の御饗殿(みけでん)でもご祈祷をしています。お札やお守りはここで受けられます。

▶ 宇治橋 うじばし

五十鈴川に架けられた木造の橋は神宮の表玄関です。長さは101.8m、両はしの鳥居は、両正宮の旧正殿棟持柱(むなもちばしら)をリサイクルしています。

▶ 風日祈宮 かざひのみのみや

風の神をまつる別宮です。鎌倉時代の元寇(げんこう)の時、神風(かみかせ)を吹かせて日本を守った神です。

▶ 五十鈴川御手洗場 いすずがわ みたらし

参拝する前に心身を清める場所です。清流で有名な五十鈴川で、身も心もリフレッシュしてからお参りしましょう。



豊受大神宮 外宮

とようけだいじんぐう (げくう)

あまてらすおおみかみ とうよけのおおみかみ
天照大神のお食事を司る神の豊受大神をおまつりしています。
内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。



御饌殿 みけでん
毎日朝夕の2度、天照大神・豊受大神を始めとする神々をお祭りするための御殿。お供えする神饌(しんせん)は、毎朝おこした清浄な火「忌火(いみび)」を使用して忌火屋殿で調理される。

正宮 しょうぐう
正殿を中心とする社殿は内宮とほぼ同じ様式ですが、殿木は9本で千木は垂直に切られています。また、社殿の配置が異なります。

土宮 つちのみや
大土乃御祖神(おおつちのみおやのかみ)をまつる別宮(べつぐう)です。古くから山田原(やまだのはら)の鎮守(ちんじゆ)の神としてまつられ、外宮創建後は宮城(きゅういぎ)の地主の神としておまつりされています。

風宮 かせのみや
風の神をおまつりする別宮(べつぐう)です。鎌倉時代の元寇(げんこう)の時、神風(かみかせ)を吹かせて日本をお守りになった神として知られています。

多賀宮 たかのみや
豊受大神(とようけのおおみかみ)の荒御魂(あらみたま)をおまつりする別宮(べつぐう)です。山の頂きにあるため古くから高宮(たかのみや)と呼ばれていました。

神楽殿 かぐらでん
ご祈祷(きとう)のお神楽(かぐら)や御饌(みけ)を行う御殿です。お札やお守りも授与しています。鎌倉時代風の屋根が美しい建物です。

手水舎 てみずしゃ
参拝前に心身を清めます。手水(てみず)の作法は、左手・右手の順で手を清め、左手に水をすくい口をすすぎ、最後に左手を洗い流しましょう。柄杓(ひしゃく)に直接口をつけないのが礼儀です。

せんぐう館 せんぐうかん
式年遷宮の資料館です。外宮正殿の模型・神宝の調製工程・遷宮祭の様態などが展示されています。シアター・検査コーナーなども充実しており、神宮や神道について深く知ることができます。休憩所から望まがたま池の景観も美しく、舞台では観月会などの行事が催されます。

◆ **せんぐう館 利用案内** ◆
開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)
休館日：毎月第4火曜日(祝日の場合は翌日)
照会先：☎ 0596-22-6263

神宮 -お伊勢まわりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。



▼ 内宮へは近鉄「宇治山田駅」より内宮行きバス約15分 ▼ 外宮へは近鉄・JR「伊勢市駅」より徒歩5分 ▼ 両宮間もバスが利用できます。
▼ 車で、伊勢自動車道「伊勢西インター」から、外宮・内宮とも約5分。

神宮司庁 広報室

〒516-0023 伊勢市宇治館町1 ☎ 0596(24)1111(代)
<http://www.isejingu.or.jp/>